

# US SIF が米国の ESG 投資の現状をまとめた レポートを公表

Research Clip  
2021 年 4 月

社会システム研究所  
アナリスト 石田竜大

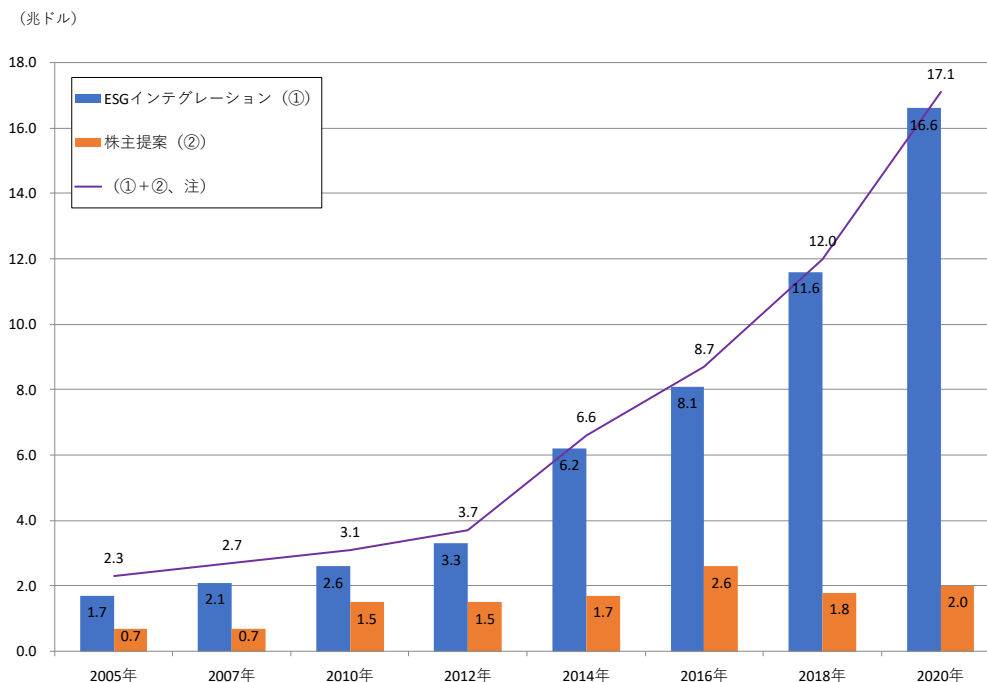
■ 令和 2 年 11 月、米国において ESG 投資を推進する US SIF(The Forum for Sustainable and Responsible Investment)は、米国における ESG 投資の現状をまとめたレポート「Report on US Sustainable and Impact Investing Trends 2020」を発表した。ESG 投資とは、企業業績などの財務要因に加えて、ESG(環境・社会・ガバナンス)と呼ばれる非財務要因を考慮する投資である。以下では、同レポートの概要について説明する。

## 1. 米国における ESG 投資の概要

図表 1 に示すように、米国における ESG 投資資産は拡大している。2016 年の初めに 8.7 兆ドルであった ESG 投資資産は、2018 年には 2016 年比で 38%増加し 12 兆ドル、2020 年には 2018 年比で 42%増加し 17.1 兆ドルとなった。これは、米国で機関投資家が運用する資産の 3 分の 1 にあたる。

US SIF では、ESG 投資の手法を ESG インテグレーションと株主提案に分類している。ESG インテグレーションは、環境・社会・ガバナンスなどの非財務要因を企業業績などの財務要因と組み合わせて投資の意思決定を行っている資産であることを指す。株主提案は、ESG 課題に関する株主提案もしくは共同提案を行うことを指す。2020 年時点における ESG 投資資産 17.1 兆ドルの内訳は、ESG インテグレーションが 16.6 兆ドル、株主提案が 2 兆ドル、双方の重複が 1.5 兆ドルとなっている。また、ESG インテグレーションの 16.6 兆ドルの内、4.6 兆ドルは個人投資家(28%)、12 兆ドルは機関投資家(72%)によるものである。

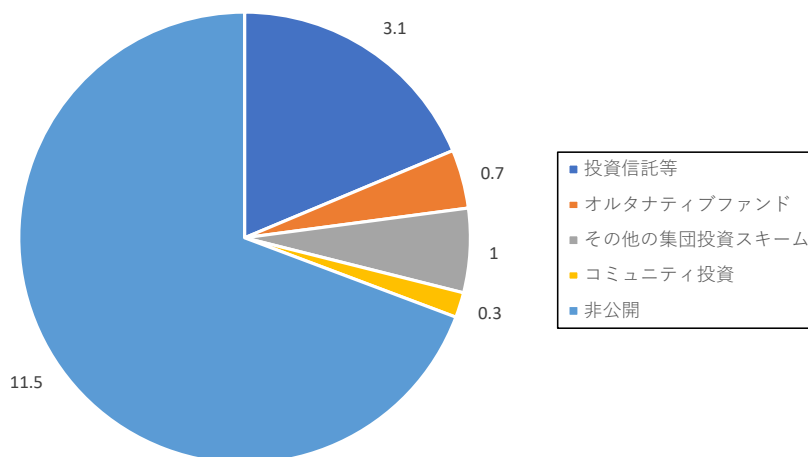
図表 1 米国における ESG 投資資産の推移



(注)双方の категорияに属する運用を行っている資産があるため、合計は重複を除いて算出されている  
(出所)US SIF「Report on US Sustainable and Impact Investing Trends 2020」より日興リサーチセンター作成

US SIF では、ESG インテグレーションされている 16.6 兆ドルの資産がどのような金融商品を通じて管理されているのか分類している。図表 2 に示すように、大部分(69%)は非公開であるが、残りの 5.1 兆ドルの資産については、投資信託等、オルタナティブファンド、その他の集団投資スキーム、コミュニティ投資に分類されている。

図表 2 金融商品別の ESG 投資資産残高



(単位：兆ドル)

(出所)US SIF「Report on US Sustainable and Impact Investing Trends 2020」より日興リサーチセンター作成

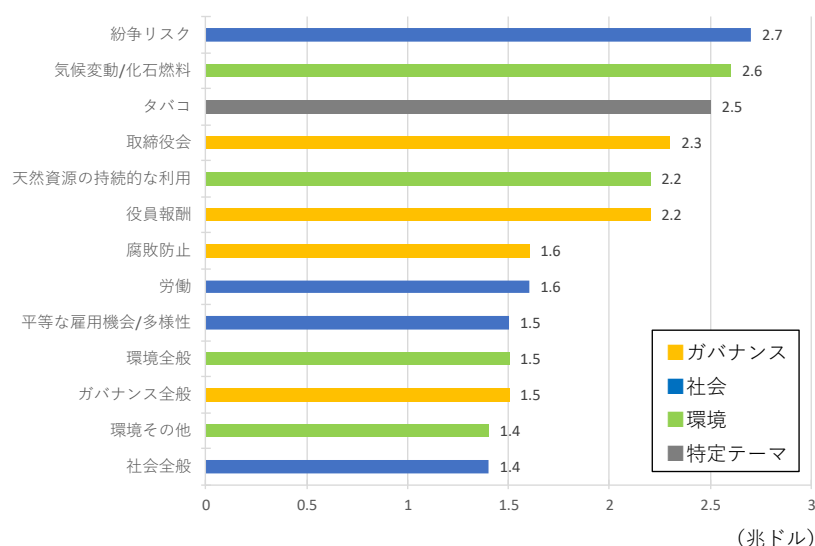
投資信託等は上記分類内で最も大きな資産額であり、2012年には6,450億ドルであったが、2020年には3.1兆ドルと約5倍の増加となっている。3.1兆ドルの内訳としては、ミューチュアルファンドが98.7%を占めている。オルタナティブファンドにはベンチャーキャピタルやプライベートエクイティ、不動産、ヘッジファンドが含まれる。近年ではベンチャーキャピタルやプライベートエクイティの増加率が高く、2018年の2,830億ドルから2020年には55%増加し、4,380億ドルとなっており、0.7兆ドルの内、61.2%を占めている。

## 2. ESG投資の傾向

次に、投資意思決定で考慮されているESG要素をアセットオーナーと運用機関別に図表3、4で示す。ESG投資において採用する非財務要因には、環境・社会・ガバナンスそれぞれ全般のほか、社会問題などの特定テーマに関するものがあり、代表的なものには、タバコ、軍/兵器などがある。非財務要因からみて好ましいと考える投資先に積極的に投資し、好ましくない投資先を避けることによってESG投資を実践する。

アセットオーナーにおけるESG要素では、資産残高の多い順に、紛争リスク、気候変動/化石燃料、タバコとなっている。気候変動/化石燃料は後述する運用機関と同様に重要なテーマとなっており、2018年の約2.2兆ドルから2020年には約2.6兆ドルと17%増加している。天然資源の持続的な利用は増加率が高く、2018年の約1.1兆ドルから2020年には約2.2兆ドルと約2倍に増加している。

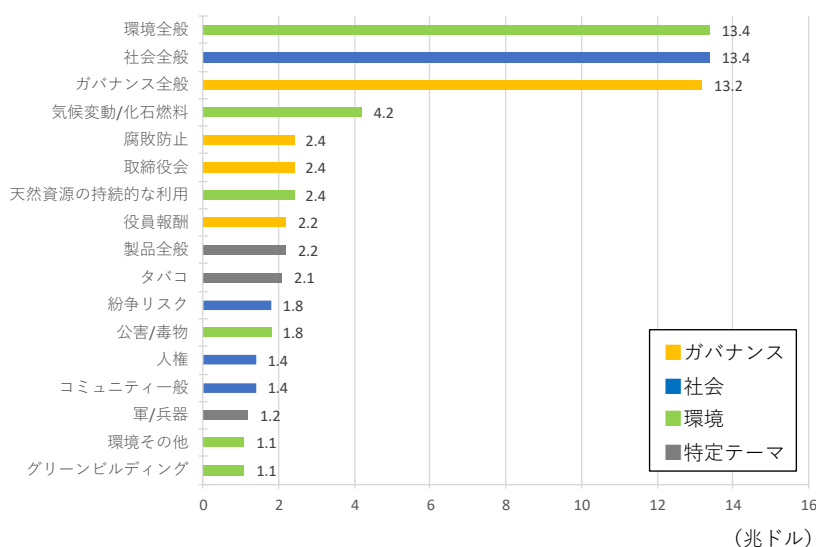
図表3 アセットオーナーにおけるESG投資のテーマ別資産残高（2020年）



(注)同一資金が複数のテーマを採用していることがあるため、合計金額はそれぞれの資産規模を上回っている  
(出所)US SIF「Report on US Sustainable and Impact Investing Trends 2020」より日興リサーチセンター作成

運用機関の ESG 投資では、全般的に環境・社会・ガバナンスいずれも均等に組み込んでいるが、2018 年と比較すると環境への関心が高まっている。ESG 要素については資産残高の多い順で、気候変動/化石燃料、腐敗防止、取締役会となっている。気候変動/化石燃料は最も重要なテーマとなっており、2018 年の約 3 兆ドルから 2020 年には約 4.2 兆ドルと 39%増加している。また、役員報酬は増加率が高く、2018 年の約 1 兆ドルから 2020 年には約 2.2 兆ドルと 122%増加している。

図表 4 運用機関における ESG 投資のテーマ別資産残高（2020 年）

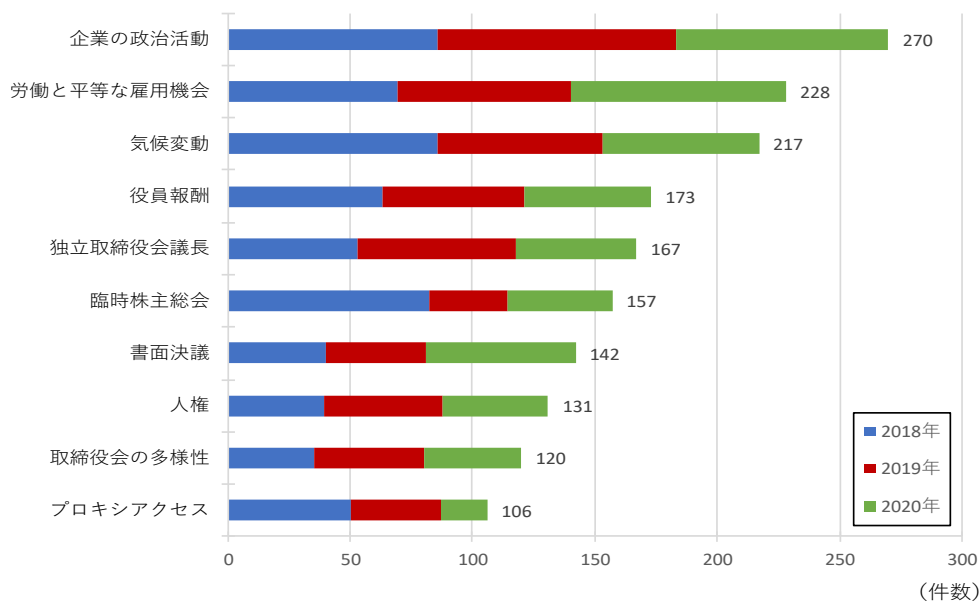


(注)同一資金が複数のテーマを採用していることがあるため、合計金額はそれぞれの資産規模を上回っている  
(出所)US SIF「Report on US Sustainable and Impact Investing Trends 2020」より日興リサーチセンター作成

### 3. 株主行動の傾向

図表 5 に、株主提案の主なテーマを示す。2018 年から 2020 年上半期の間、149 のアセットオーナーと 56 の運用機関が、投資先に ESG 課題で株主提案を行ったと回答した。株主提案のテーマは提出議案数が多い順に、企業の政治活動、労働と平等な雇用機会、気候変動となっている。企業の政治活動とは、企業資金での政治的支出やロビー活動のことを指し、ターゲットの多くは温室効果ガス排出規制に反対する団体を支援している企業であった。政治的支出とロビー活動に関する提案は、2012 年から 2018 年までの平均で 24~27%の賛成を得ていたが、過去 2 年間で賛成率は増加している。2019 年に投票にかけられた 23 件の提案は平均 32%の賛成を得ており、2020 年に投票にかけられた 28 件の提案は平均 33%の賛成を得ている。労働問題に関する提案は、過去 3 年間で平均 23%以上の賛成を得ており、そのうちの 7 件が過半数の賛成を得ている。企業に気候変動への対応を求める提案は、過去 3 年間で平均 24%以上の賛成を得ており、そのうちの 7 件が過半数の賛成を得ている。

図表 5 株主提案の主なテーマ



(出所)US SIF「Report on US Sustainable and Impact Investing Trends 2020」より日興リサーチセンター作成

同レポートは、下記 URL よりダウンロードできる。

(<https://www.ussif.org/files/US%20SIF%20Trends%20Report%202020%20Executive%20Summary.pdf>)